

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第10回伊那北駅周辺再生WG			
開催日	2025年7月26日(土)			
開催時間	開会	9:00	閉会	10:00
開催場所	伊那北地域活性化センター「きたっせ」 イベントホール			
出席者				
協議会・WGメンバー	田畑和輝氏、高橋明星氏、笠井成樹氏、北原俊文氏			
事務局・職員	建設部 柴田参事 建設部都市整備課 辰ノ口課長補佐、田尻主査			
関係者	伊那北高校生徒(3年生)			
欠席者	須永次郎氏			
議事	1. 伊那北駅周辺再生WG「対話・つながり・実現の場」企画書(案)について			

議事項目	概要	次のステップ
1. 伊那北駅周辺再生WG「対話・つながり・実現の場」企画書(案)について		
・「対話・つながり・実現の場」の企画書(案)について	○事務局 ・伊那北駅周辺再生WGの「対話・つながり・実現の場」の開催は9月23日(火、祝)の午後とする。 ・会場は伊那北地域活性化センター「きたっせ」のイベントホールとする。 ・高校生がファシリテーターとなり、進行する。 ・参加者には「伊那北駅周辺で何がしたいか」について、ソフト面を考えてもらう。 ・伊那北駅周辺整備に関するアンケートについて、地元の方にも回覧等で回答を依頼する。 ・参加申込時に大まかな「やりたいこと」を回答してもらい、グループに分ける。 ・具体的な内容は、以下のとおりとする。 ①挨拶 ②伊那北駅周辺整備の検討状況の説明 ③AIカメラを用いた駅利用状況分析及び駅整備に関するアンケート結果の説明 ④意見交換「伊那北駅周辺におけるこれまでの街の営みとその変遷」(山寺区民話題提供) ⑤グループワーク「伊那北駅でやりたいこと」(やりたいことのコラージュを作成) ⑥成果発表	

	○WG メンバー ・以前は伊那北駅前に櫓を組み、大々的に盆踊りを開催していたと聞く。当時の様子を写真等で提示できないか。 ・チラシにも当時の写真を掲載し、地元の方の参加に繋げたい。 ○事務局 ・山寺区に確認し、写真の提供を依頼する。 ○WG メンバー ・在学中の高校生は、整備完了時には在学していないため、自分事として考えることが難しい。今回の場を自分事として考える機会にしてもらいたい。 ○WG メンバー ・参加申込時の「やりたいこと」の回答によるグループ分けでは、年齢層がバラバラで、意見を言いづらい人もいるのではないか。 ○事務局 ・年齢層も考慮したグループとしたい。 ○WG メンバー ・グループワークの前提条件として、検討する時間軸（短期、中期、長期）を提示した方がグループ内の意識を統一できるのではないか。 ○事務局 ・今回は短期に焦点を当てて議論してもらうことで、より自分事として考えてもらいたい。短期から検討し、中期、長期と繋げて魅力ある拠点を作り上げていきたい。 ○WG メンバー ・「やりたいこと」が、「伊那北駅周辺だからできること」か「どこでもできること」かによって検討内容が変わる。また、地域の人が上手く溶け込むような中向けの内容か、地域外から人が集まるような外向けの内容か、誰に対する発信なのかによっても検討内容が異なる。駅は行き来する場所、出逢いと別れの場所でもあり、伊那北駅周辺だからこそできることと考えられれば、より意味のあるイベントになるのではないか。 ○WG メンバー ・地域外から人を呼ぶとなると非常にハードルが高くなる。段階的に検討することは有意義ではあるが、今	・写真の提供を依頼。
--	---	--

	回は地域の方が上手く溶け込むような中向けの内容について議論することが良いと考える。 ○WG メンバー ・従来より地元で生活を営んでいる方の話を聞き、地元の想いを感じてもらうことで、地元の活性化に繋がる案が出ることを期待する。 ○WG メンバー ・駅周辺の様子は市民でも送迎時等の短時間しか知らない。将来、駅周辺に人が増えることが視覚的に感じられる資料があるとイメージしやすいのではないか。 ○事務局 ・駅周辺の様子を撮影した動画を再生し、将来的に人が増加することをイメージしてもらう。 ○WG メンバー ・今回はソフト面について議論し、次回以降、ハード面について議論する場を設けることを明確にし、連続性を持たせることで、参加者に継続して興味を持ってもらいたい。 ○WG メンバー 今回の対話の場を、自ら動くきっかけにしてもらいたい。地元の方も参加し、以前に伊那北駅周辺で実施していたイベント等の思い出、苦労話を話してもらう場にもなれば良い。 ○高校生 ・まちづくり（＝新しくすること）が本当に正しいのか。今の生活を守りたい人もいるのではないのか。本当に必要とされるものが何なのかを考える必要がある。 ○WG メンバー ・参加する方の想いや、もやもやしていることを率直に話す中で、地元の生の声を聞き、知ることによって自身の考えを整理する場にしてもらいたい。 ○高校生 ・人によってまちづくりに求めるもの、考え、答えは変わってくる。どれも間違いではない。人それぞれの答えを考えるきっかけになれば良い。 ○WG メンバー ・地元は年配が多く、年配の方が地元に関する意識が高いと感じるが、今後、地元を維持していくためには若い世代の力が必要となる。	・地元の方への参加、協力を依頼。
--	--	--

	・ 地元の文化や想いも知らなければ消えていく。消さないためには知ることが必要である。知り、考え、繋げていくことが重要。 ・ 地元の文化、想いを様々な世代で共有できるだけでも意味のある場になるのではないか。	
--	--	--